

高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School

東海大付属高輪台高等学校同窓会会報
(第6号)

発行所: 東海大付属高輪台高等学校同窓会
〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16
Tel: 03-3448-4011, Fax: 03-3448-4020



「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学付属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

旧制東海工業学校 (昭和21年3月卒業) 同窓会開催される

1999年12月12日に開催された「いとし会」がきっかけとなり旧制東海工業学校同窓会 (旧史第1回卒業生) が開催されました。

2000年4月8日 (土) 12時、母校に近い高輪プリンスホテルで母校旧史に残る第1回卒業生 (母校は1944年に創設され (5年制旧制学校)、1948年に新制高等学校となったため、正式には6年間で卒業となり、1950年が第1回卒業生となっている) 12名と、この会のきっかけとなった恩師の相馬正樹先生と母校から私、松原健次が招待されました。



当時、1944年に新設された甲種工業学校「電気通信工業学校」(東海工業学校の前身) に、同一法人の各種学校「電気通信工学校」に在籍していた生徒の異動が認められ発足の年から全学年に生徒を擁した。そのため1946年には第1回目の卒業生が誕生した。しかし、その後の変遷で現在の短期大学部と高輪台高校へと進展したため、当時の卒業生はどちらの学校の同窓生になっているのか分からない状況にな

っていた。そこでそれを証明して欲しいということで、私が相馬先生から要請を受けて出席し、実状を説明しました。

その後の旧史第1回卒業生の通信文には次の内容が、判明した同級生名簿と共に記載されてありました。

◎私達は、東海大学付属高輪台高等学校同窓会名簿 (卒業生18,600名) の一番最初に旧制東海工業学校第1回卒業生として、掲載されております。戦時中に入学し戦後繰上げ卒業で母校との連絡がとれないままとなっておりましたが、今回、恩師相馬先生のお計らいにより、母校の事務長松原先生にも、ご出席いただき現在の高輪台高校同窓とも緊密な関係ができました。

尚、会は在学当時の懐かしい話に花が咲いていましたが、戦時中のことでもあり私も初めて聞く内容のことが多く、大変なおどろきでした。また、私が持っていった資料の中に当時歌っていた校歌 (作詞: 土井晩翠、作曲: 東京音楽学校) が載っていたため、大変喜んで皆んな大声で合唱しました。これこそ貴重な歴史的文化遺産なので今後役員の方々と何とか保存できるように考えていきたいと思えます。また、今後は1949年までの旧史の卒業生も何とか関係を持つ努力をしていかなければならないと考えます。 (文責: 松原)



第3回定期総会を迎えて

高輪会会長
上島 弘安

前回、新校舎落成を記念し会議室での総会、校舎見学、食堂にての懇親会を開催したところ多くの方の参加をいただき有意義な討論を有り難うございました。その後の会の運営発展にどれだけ勇気づけられたか計り知れないものがあります。

この3年間に、新しい事として「いとし会」の開催、女子卒業生の入会がありました。いとし会は50歳以上の方を中心に毎年開催を前提に準備を進め、第2回実行委員会まで組織しましたが挫折してしまいました。その原因は会員名簿の不備にありました。新たに50歳を迎えられた方々の住所不明があまりにも多すぎ、毎年開催しても参加者が拡大せず、じり貧になることが予測された結果でした。

今年度は名簿改定の年にあたります。皆様のクラス会・同期会・クラブのOB会等で名簿がありましたら事務局に送ってください。調査し住所不明者の欄をできるだけ埋めて行く努力をしたいと思っています。

皆様は卒業したときクラス幹事をお決めになった事、だれが幹事な

のかを覚えていらっしゃいますか20年、30年と歳月が経過すると殆ど忘れてしまってしまうのが普通なことだと思います。

同窓会の組織は個人ひとり、ひとりからなり立っています。しかし会の運営に参加し、協力をお願いするとき登録されている代表者 (幹事) に連絡をとっても住所不明で返送される事が多くなっています。現在実質的な幹事の方ぜひ事務局に登録いただき会の運営にご協力ください。

今回の総会では役員会の組織改革が提案されます。副会長2名が4名に理事10名が15名に増員されます。役員の方々の多数は普通のサラリーマンでありリストラの嵐のなかで戦っている戦士たちなのです。会議をしても全員参加は不可能な時代になっています。一人一役では連絡が不十分になり成果が期待できなくなっています。複数の担当によりこの欠点を解消したいと考えています。

第1回「いとし会」の後、何十年振りに学校を訪れ友人に再会でき楽しい一日を過ごすことができ良かったとの声を聞き企画側もほっとした思いがしました。今回の総会は生徒の「文化祭」当日にしました。現代の高校生の活動をなままでご覧いただき、若者の理解の一助にさせていただくと共に、旧友との出会いの場にしていただけたら幸いです。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

第3回 高輪会総会及び懇親会のご案内

と き: 2001年10月13日 (土)

と ころ: 東海大学東京短期大学部 (本校隣)

総 会 421号室 15:30~16:30

懇親会 学生食堂 16:30~18:00

会 費: 3,000円 (懇親会費用)

当日は、高輪台高校の建学祭 (文化祭 10:00~16:00) が実施されております。是非見学された後、総会会場 (本校隣) までお越しください。

また、懇親会は、旧職員並びに現職教職員の皆様の出席を依頼してあ

ります。皆様と共に楽しい一時を過ごそうではありませんか。尚、懇親会は準備の都合がありますので出席の場合は、必ず返信はがきにてご返事下さい。会費は当日受け付けます。

総会内容

- ①2000年度事業報告、②2000年度決算報告、③2001年度事業計画、④2001年度予算、⑤規約改正 (案)、⑥役員改選、⑦2001年度事業計画 (修正案)、⑧2001年度予算 (修正案)

懐かしいあの人は、いま…



「我が胸中」

前田 勝介

1. 昔の病気のなごり転ばぬ先の杖数回の医者通い。思いおこせば親譲り、これは仕方なしか？
2. 高輪台高校新校舎「すごい」の一語につける。関係の先生方にただただ頭が下がる思い。感謝あるのみ
3. 無礼横暴無恥無作法無神経な様無分別などこの世相。まともな人間教育は出来るわけがないと思いつつ往年の我が教師時代をさぐるを思う
4. 数十年前松前重義前総長先生が話された言葉「精神文明の洗礼を受けない物質文明は人類に幸福をもたらすものではない。」世をあげて教育改革、その核心。いかにすべきや!!



「七十の手習い」

河西 勇

お世話になりました学校を退職してはや十年あつという間の時間でした。最近好きだったテニスもやめ、ボロ車の運転、わずかばかりの菜園を借りての野菜づくり、へたでもいいへたがいいとい

た、ねん土・俳句が七十の手習いです。

同窓会諸兄は、それぞれの年代で戦後日本が経験したことの無い困難をかかえておられることでしょう。(社会科の)もと教師としては、何はともあれ二十一世紀が戦争の世紀にだけはなつて欲しくないものと願っています。母校の発展と諸先生諸兄の御健康を心からお祈り申し上げます。

嫋嫋と世紀を送る除夜の鐘



「近況報告」

志村 義樹

私は、1957年、旧東海電波高校に奉職し、1980年、東海大学短期大学部に移動し、今年定年退職まで43年になります。

移動した当時、日本では学問領域として未認知の、「コンピュータ支援による学習」(CAI)の研究・開発の一員として着手し、5次にわたるシステムと英語教材ソフトの開発に従事してきました。この教材が認められ、市販されるに至り、高校や大学で導入され、その成果により、松前重義記念基金奨励賞など奨励賞や教育功労賞などを受賞しました。

現在、非常勤として高輪台高校、短期大学部で教壇に立っております。



「近況報告」

清水 智明

東海電波高校に採用されたのは、昭和32年(1957)のことです。

36年間勤務して、千葉県市原市にある望洋高校に転勤し、平成12年(2000)に定年退職しました。

東海電波高校から高輪台高校に至るまで、ずっと男子校でしたので、共学校の望洋高校に勤務した時には、たいへん新鮮な思いがしました。

高輪台高校には自由な校風があり、望洋高校には、日本の古き、よき時代の学校が持っていた生真面目

さがありました。

43年間の教員生活を十分に楽しく過ごすことができたことを心から感謝しています。

現在は渋谷にある望星高校で、放送教育の手伝いをしております。

収録、レポート添削、スクーリングなどに忙しく、また楽しく頑張っています。



「近況」

小椋山 肇

青春時代に味わったあの忌まわしい体験を払拭するため、民主教育を受け直す道を選択し、そして辿り着いたのが鳩の巣城。

そこには科学技術教育の潮流が漲り、生徒の白衣のポケットには計算尺を覗かせていたのを回顧する。その卒業生から「定年退職」のはがきを頂き「ウソ一」と思わず眩くこの頃。

「コヒー」と窓から手を振る生徒。電車の中で「コヒー」だと囁き合っているのを耳にすると、健康の幸せを知る。そんな気持ちをキャンパスに表現できないかと油絵を楽しみ、ナイスショットを夢見る毎日である。同窓会の益々のご発展を祈る。



「近況」

深田 二義

早いもので退職して4年目に入っています。退職後2年位は、日産の研究所で自動車将来使用するであろう試作の備品材料等の検査試験し内容分析して、パソコンでデータ整理する仕事に従事していましたが、最近では毎月色々な講座等が実施されているものに参加したり、市民農園地を借りて、四季折々の野菜等を作りながら気分転換等体力作りに励んでいます。また孫達と一緒に遊園地等にドライバーとして楽しく過ごしています。

「同窓生として」

松原 健次

昭和33年東海電波高等学校に実験助手として勤務して以来あつと言う間に43年間が経ちました。あと数年で定年を迎えます。この間私の記憶に残る事は沢山ありますが、特に1995年9月30日初めて同窓会総会に漕ぎ着けたことです。長い間かかって出来なかったことが、多くの同窓生の協力により、ようやく実現できたのです。1951年同窓会が誕生して以来44年目である。以来6年目を迎えますが、まだまだ順調な活動までには至っておりません。一部の方に負担がかかっているのが実状です。同窓会を如何にするか、多くの皆さんの肩にかかっています。どうか、末永く発展に力を貸して下さることを願っています。



「近況報告」

水野 幸夫

目標というか、志というか、それを継続して保持していると、目的地的に近くに存在していることに気付く。山登りと同じだ。

去る六月の梅雨の中休み、36回日の山岳部のOBで組織する。「山賊祭」に参加。メンバーの交替はあるが、毎回25乃至30名位が集る。何をしようという訳ではないが、楽しいので毎年出席している。長く住所録の整備や開催通知など、よく世話をしてくれた鈴木君や

平川君、今は吉田君等に感謝している。

本職の幼稚園経営も、昨年は園舎の増築と手賀沼に隣接する場所に、もう一園経営を引き継ぎ、病気をしている暇がない程忙しい毎日です。

次の目標は、社会福祉法人の設立。ボチボチ始動しないと、人生の終点になってしまう。



「近況」

西園 朋史

3年前退職するまでの37年間本校にお世話になりました。退職する直前の五年間はデンマーク校出向で海外生活も経験させてもら

しました。教員生活の大部分が本校勤務でした。現在は横浜の小さな家で夫婦二人での生活ですが、幸い健康ですので週3日間は非常勤講師として働いております。

同窓会は人生を豊かにする場と考えます。小生は郷土の同窓会や同期会には必ず出席するようにしていますし、楽しみでもあります。

「高輪会」も多くの人の楽しみ場としてますます発展するように祈っております。

「近況」

宮良 信博

昨年、三月末に退職させていただきまして、早一年半を経過致しました。定年までは若干あつたはずですが、母親の介護があり、職場から離れました。退職後は好きな海外に旅行しています。昨年の四月にはロンドン、ローマ、パリに旅して、ウィンザー城、ベルサイユ宮殿、ボンベイ、ナボリの多所旧跡を巡りました。今年の二月には寒さを予想していたのですが、東京より、朝晩は少し寒かっただけで、積雪もなかった中国、北京に足を運び、故宮、万里の長城、天安門広場、景山公園等を観光し、念願の北京ダックも食し中国の歴史と文化の一コマを体験して来ました。シーズンオフの海外旅行は費用も安く、夏休み期間より三分の一で済みました。

最後になりましたが、卒業生の皆様方のご活躍を祈念しております。



「近況」

熊谷 勉

港区西新橋の音響技術専門学校で教員をしています。電気的基础教科と、オーディオアンプ製作、工学ゼミナールで第一級陸上特殊無線技士の資格を取得する講座を持っています。さらに研究科では、スタジオで使用するための機器製作をしています。FETパワーアンプ、マイクロフォンアンプ、アッチネータ、CUE・BOXの製作指導をしています。

地域に密着した社会福祉の仕事として、民生、児童委員をしています。ボランティア活動も今年で三年目ですが勤務の関係で思うように動けないのが残念です。介護保険の問題や不登校、引きこもりなどの学習をしています。

若い時、スポーツをやった事で、体は丈夫で病気もせず、元気で過しています。



「すばらしき同窓会」

鈴木不二也

同窓会の皆さんお元気ですか。私もお陰様で元気で、最近二つの同窓会に出席して来ました。一つは太平洋戦争前夜に卒業した私立の小学校で、当時大阪に数校しかなかった一外人教師の英語授業や理科実験の盛んなユニークな一校で

した。会うと互いに少年に戻って、肩を抱き合いながら心から打ち解けて話し合いました。もう一つは青学大英文科一期生の会で、半世紀ぶりに再会しました。終戦直後の焼け跡に未来の夢を膨らませた同志です。ホープとファイトだけは全員変わりなし。同窓会はとていいものですね。どうか皆さん元気で集い励まし合ってください。

「近況」

本間 直紀

卒業生の皆さんお元気ですか。

私は昭和39年(1964年・東京オリピック)に東海電波高等学校・工業科(電気通信科・電子科・計測科・原子科)に奉職し、当時の工業科は真空管の時代でした。以来、ミニチュア管、トランジスタ、LSIと進歩して行くなかで、コンピュータが小型化して現在のパーソナルコンピュータの時代となり、平成8年に東海大学付属高輪台高等学校・普通科(男女共学)と変遷し、電気よりパソコンの授業が中心でした。

平成10年3月31日で35年間勤務し、定年退職いたしました。

変遷の烈しい時代を生徒と共に学び、9回の卒業生を世に送り出すことができました。お陰様で今は、社団法人 蔵市シルバー人材センターで事務所のパソコンのお手伝いをしたり、当センター主催のワープロ講習会の指導員としてお手伝いしたりで、楽しく過ごしております。

「近況報告」

森下 秀夫

昭和38年東海電波高等学校に奉職以来本校で教職一筋にやってきました。来年3月で定年退職となります。育てて頂いた先生方始め保護者、生徒、卒業生には心より感謝申し上げます。学校の名称も三回変わりその都度一步一步前進してきました。現在は男女共学で校内の雰囲気も大きく変わりました。今までは教員の目線でごえ、判断をすることが多かったと思います。職業柄許されました。残された人生はお世話になった方々に手助けができ、少しでもお返し出来ればと考えております。

「近況」

数学担当 中島 洋介

本校は長い間男子校でしたが、今年始めて男女共学の子一期生の卒業生を送り出しました。男子校と異なる雰囲気を感じています。私自身、男子校での教鞭が長く当初は困惑と戸惑いがあり名前を点呼するのにも気遣いするところもありました。男女共学4年目を向かえて何とか慣れてきましたが、やはり女子指導の難しさを日々感じながら頑張っています。また、校舎も地下3階地上6階の新校舎になりました。3基24人乗りエレベータ、全トイレがウォッシュレットで全教室が冷暖房完備です。ちょっとしたホテルと言った施設設備です。ぜひ、お近くにお寄りの際は、本校へお立ち寄り下さい。私が、ご案内させていただきます。

「頑張っています」

社会科 鈴木 政雄

いま私は東海大学教育開発研究所に所属しています。すでに6年になります。最近が高輪台を恋しく思っています。だいいち共学ですから、一度くらいは女子生徒の前で授業してみたかったです。でも、もう年ですから女子生徒に

は持てそうにありませんし、残った教師人生を研究所で頑張らねば、とも思っています。

私が勤めている研究所は先生方の研修会を開いて、東海大学の傘下の付属諸学校の教育改革を目指している機関です。現在、数学や英語、コミュニケーション(ディベート)などの教員研修のほかに、数学の展示会を国内外で開いています。この展示会は数学嫌いな子供たちを「数学大好き人間」にするための企画です。もともと私は教科が社会科ですから数学に係わるのは大変なことで、いまは付属の先生方から社会科の先生と思われていません。いまでは私自身、過去に生徒に何を教えていたのか、忘れそうになります。すごく忙しい毎日ですが、充実した日々を過ごしています。卒業していった皆さんも、仕事は熱中することが大事です。頑張ってください。

「元気ですか」

岡崎 勇

43回卒業生の本田靖治君が、理学博士になられたそうです。すばらしい事ですね。学校報に、本人のメッセージが寄せられまして、小生のことが出ていたので、驚くと同時に、教師をしていて、本当に良かったと思う。本田君のさらなる活躍を祈る。

高輪台で30年も居続けて、カビでも生えるといけないのでと思い、北海道の第四高に二年間、その後に、デンマーク校に三年間と出向研修をさせて頂き、久しぶりで東京の生徒・街をながめながら、早いテンポで変わり続けるパワーに圧倒されないように努力しているこの頃です。

「退職して想う」

大津 正満

昭和41年4月本校に奉職して、早や35年の月日が過ぎ去り、今年の3月末日に定年退職致しました。

当初の母校は工業の課程として、我が国の工業発展を担う中堅技術者の育成の為に専門科目の勉学に励み、生徒の就職活動に全力を尽くしました。

その後幾多の変遷を経て男女共学の普通課程に生まれ変わり、多くの生徒諸君と情報処理を研鑽し、又懇意にテニス部の活動に励むことができました。

今や静かな生活の中で、送り出した卒業生や、活躍されている同窓生の姿を見聞きしては、過ぎし日の教員生活の万端の思いが胸に押し寄せる今日この頃です。

「ありがとう」

古越 孝

先日、15年前の卒業生がたずねて来た。私が何年かぶり、3年の担任になったときの生徒であった。始まって2日後には研修旅行、クラスの全体像をつかむのに苦労した。活発で口の悪いのがそろっていた。そんなクラスで、のんびり屋の彼がいつもまとめやくだった。体よくクラスのみんなに押し付けられていたのかもしれない。でも、彼は楽しんで自分の役をこなしていた。彼に助けられて、良いクラスになった。その後も、私が担当したクラスには彼のような生徒がいて、クラス全体にまとまりができた。そして今も、私は生徒に助けられて、教師生活を続けている。

「私の近況」

杉山 元夫

30年間の男子校時代がいきなり共学となったのですから、とまどうことばかり。失敗しながらも教えてもらっているというのが現状です。男子と女子が

ともにいて、協力し合う光景を見るにつけても、これが自然の姿だと思わせられています。

教師として邪馬台国の研究を続け毎年日本各地をまわっています。大和だけでなく、岡山、大坂、出雲。昨年は熊野。今年は伊勢神宮を取材するつもりです。そして古代の日本文化に影響をあたえている渡来人秦氏と景教をも調査しようと考えてます。

「改革真只中」

杉 一郎

本校卒業生の皆さん、如何お過ごしですか。新校舎が竣工して3年、男女共学校としてスタートしてから3年半が経過しました。この3月には、女子の第一回卒業生152名が巣立ちました。

また、伝統ある「剛健旅行」は、今年で33回目を迎えました。塩山～多摩湖のコースは道路事情等により中止し、1988年度より群馬県嬭恋村の東海大学嬭恋高原研修センターをゴールとするコースに変更し実施しています。

今後も在校生や保護者、OB、地元等多くの皆様方のご支援・ご協力をいただき、日本でも誇れる高校を目指して改革を推し進めています。OBの皆様、大きく変わって行く本校を是非ご自分の目で確かめに来て下さい。

「近況」

有瀬 忠憲

今までは外部の委員会の仕事が沢山あって緊張の連続でしたが、若い先生方にバトンを渡しました。現在は日英サイエンス教育研究会があります。これは2003年度以降高校で学ぶ化学実験を何を残すかという事で検討しております。各自三本のレポートを書くことになっております。

一方、部活動の方は、連続して環境問題(酸性雨の経年変化)、リサイクル(廃油から人工石油の合成)、エネルギー問題(超伝導の合成)に取り組んでおります。人数は少ないですが、決して、他校に比べて見劣りするものではありません。むしろ、誇りに思っていたきたいです。

「私が高輪会に望むこと」

平成12年度3月5日卒業

元3年9組 鶴岡 薫

共学後、初の女子卒業生としての私が高輪会に期待することは“在校生と卒業生の縦のつながり”です。正直なところ私は卒業して初めて高輪会の活動を知りました。ですからまだ活動の多くを知りませんが、この会に参加するという事はとても有意義なことだと思っています。幅広い年齢層の卒業生が集い交流することにより、お互いに良い刺激をうけ豊かになり、そして高輪会が活性化し、また多くの人々が理解・参加をする一私はこれが「つながり」であると考えています。

また、在校生もいつかは卒業生となるわけですから、在校中から高輪会のことを知り、身近に感じていようではないでしょうか。

温故知新をモットーに諸先輩方から多くの事を学び、私達の若い力でこの活動をもっと活発にしてゆき、在校生にも高輪会が馴染みのあるものにしていきたいと考えております。



2000年度活動報告

2000年度 収支決算書
(2000年4月1日～2001年3月31日) (単位:円)

収支	科目	予算	決算	備考
収 入	1. 前年度繰越金	2,363,720	2,363,720	
	2. 入会金	4,580,000	4,580,000	10,000円*458名
	3. 維持会費	50,000	53,590	
	4. 特定預金繰入	0	0	
	5. 預金利息	4,000	6,135	
	6. 雑収入	0	0	
	合計	6,997,720	7,003,445	
支 出	1. 会議費	200,000	119,346	役員会食事代 (いとしを含む)
	2. 広報費	200,000	20,000	連合会会報代
	3. 渉外費	300,000	195,000	連合会会費・総会参加費
	4. 印刷費	1,200,000	0	
	5. 通信費	1,400,000	4,900	はがき代
	6. 旅費交通費	400,000	412,130	連合同窓会、役員会、いとし会
	7. 用品費	30,000	0	
	8. 事務雑費	10,000	310	
	9. 補助費	200,000	0	
	10. 記念品費	300,000	298,158	卒業記念品 (証書ホルダー)
	11. 特定預金	2,700,000	2,700,000	名簿代積立分、会費前払い分、他
	12. 雑費	50,000	35,415	アルバイト料、振込手数料
	13. 次年度繰越金	7,720	3,218,186	
	合計	6,997,720	7,003,445	

2000年度 特定預金 (単位:円)

項目	金額
前年度よりの繰越額	10,000,000
今年度組入	2,700,000
合計	12,700,000

監査の結果、収入、支出の各項目について、収支計算は校正妥当なものであることを認めます。
2001年5月1日

会計担当 松原健次
監査役 加藤慶男
森 公法

2001年度 収支予算書
(2001年4月1日～2002年3月31日) (単位:円)

収支	科目	予算	備考
収 入	1. 前年度繰越金	3,218,186	
	2. 入会金	4,770,000	10,000円*477名
	3. 維持会費	150,000	
	4. 特定預金繰入	600,000	
	5. 預金利息	7,000	
	6. 雑収入	0	
	合計	8,745,186	
支 出	1. 会議費	200,000	役員会食事代、他
	2. 広報費	100,000	会報発行広報費、他
	3. 渉外費	200,000	連合会会費、他
	4. 印刷費	6,000,000	会報 (200万円; 2年分)、名簿 (360万円)、他
	5. 通信費	1,500,000	会報送料、はがき代、他
	6. 旅費交通費	100,000	連合同窓会・他
	7. 用品費	10,000	
	8. 事務雑費	5,000	文房具他
	9. 補助費	200,000	懇親会等
	10. 記念品費	300,000	卒業記念品 (証書ホルダー)
	11. 特定預金	75,000	名簿代積立分、会費前払い分、他
	12. 雑費	50,000	
	13. 次年度繰越金	5,186	
	合計	8,745,186	

2001年度 特定預金 (単位:円)

項目	金額
前年度よりの繰越額	12,100,000
今年度組入額	75,000
合計	12,175,000

2001年度活動計画

2001年度は、次の活動を計画している。

■クラス会・同期会のご一報を

クラス会・同期会等を実施されたところは、是非内容をご一報下さい。会報にて会員の皆様にもお知らせしたいと思います。原稿、写真等をお送り下されれば幸いです。

■同窓会費納入のお願い

現在、同総会の資金としては、過去のプール分と新規卒業生より入会金として10,000円徴集しておりますので、見かけ上での資金はありますが、この中から3年毎に発行する卒業生の名簿代として毎年120万円はプールしておかなければならないこと、また毎年維持会費は5万円位しか集まらないので、350万円位かかる通常経費を考えると、この資金だけでは少しづつ不足になり、何か大きな行事が入ってくると現在の貯蓄もすぐ行きづまってしまうものと考えます。同総会を継続的に維持発展させて行くためには維持会費の増収を計らなければならないことは明白です。

つきましては、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。会費納入は1～5年分まで受付けております。何年分か明記の上、同封の振込用紙をご使用ください。

■2001年度事業計画 (2001年4月1日～2002年3月31日)

2000年	4月	「入学式」三役参列、役員会
	5月	役員会
	8月	第6号「高輪会会報」発行
	9月	役員会
	10月	連合同窓会 (6・7日) 高輪会定期総会・懇親会 (13日(土))
	12月	役員会
2001年	1月	名簿発刊 (第3版)
	2月	役員会
	3月	同窓会入会式・新幹事との懇親会 (1日) 「卒業証書授与式」三役参列 (2日) 役員会

■お知らせ

新「会員名簿」(第3版)作成中!! 友達の住所をご連絡下さい。
3年毎の総会の年に新「会員名簿」を発行することになっております。昨年、今まで依頼しておりました会社が倒産したため、当初予定より大幅遅れとなり、来年1月に完成する予定です。既に皆様のお手元に名簿発行の案内等が届いているものと思いますが、現在会員数約2万人のうち住所不明者が半数近くにも上っております。特に1973年以前は大幅な虫食い状態です。各クラスまたは、仲間同士で掴んでいる友達の住所をお知らせください。原稿送付先は以下にお願いいたします。

〒108-8587 港区高輪2-2-16
東海大学附属高輪台高等学校
「高輪会」事務局宛

編集後記

今回の会報は、2000年度会報の第5号と同時に配信となりますので、記事内容は大幅縮小してあります。しかし、多くの皆さんに拘わりのあった先生方より近況等をお寄せいただきました。すでに定年退職された先生もあり、懐かしい記憶を思い出されれば幸いです。

また、今年は「総会」の年でもあります。発展した母校を尋ねると共に、奮ってご参加くださいますようお願いしております。